

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2014No.16】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：J. ハイドン

曲名：十字架上のキリストの最後の七つの言葉

演奏：クイケン四重奏団

発売：ALIARE

No. : COCO-78973



概要：

9月28日の研究室日誌で報告したアルカントカルテットの曲目にあったので、取りだして聴きなおしてみました。

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/?p=3322>

楽章は次のような構成になっており、福音書にあるキリストの言葉をモチーフに曲想が成り立っています。

01. Introduction ; Maestoso ed Adagio
02. Sonata 1 ; Largo 父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。(ルカによる福音書23章34節)
03. Sonata 2 ; Grave e cantabile はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる。(ルカによる福音書23章43節)
04. Sonata 3 ; Grave 婦人よ、御覧なさい。あなたの子です。(ヨハネによる福音書19章26節)
05. Sonata 4 ; Largo わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか。(マルコによる福音書15章34節とマタイによる福音書27章46節)
06. Sonata 5 ; Adagio 湧く(ヨハネによる福音書19章28節)
07. Sonata 6 ; Lento 成し遂げられた(ヨハネによる福音書19章30節)

08. Sonata 7; Largo 父よ、わたしの霊を御手にゆだねます (ルカによる福音書23章46節)

09.地震; Presto e con tutta la forza 2 Terremoto/Das Erdbeben

アルカントカルテットが現代楽器による演奏であるのに対し、クイケン四重奏団は古楽器によるものです。双方とも曲想に沿った抑制的で宗教的な演奏ですが、楽器の違いもあってクイケン四重奏団は古典的な解釈、アルカントカルテットは現代的な解釈でともに楽しめるものです。